

# 自動化設備規則検査要領

自動化設備規則検査要領

2012 年 第 1 回 一部改正

2012 年 11 月 15 日 達 第 77 号

2012 年 7 月 27 日 技術委員会 審議

2012 年 11 月 15 日 達 第 77 号  
自動化設備規則検査要領の一部を改正する達

「自動化設備規則検査要領」の一部を次のように改正する。

## 1 章 総則

### 1.3 浸水防止及び火災安全対策

1.3.1 を次のように改める。

#### 1.3.1 浸水防止

-1. 規則 1.3.1-4.でいう「ビルジ吸引系統」とは、鋼船規則 D 編 13 章 13.5.7-6.及び-7.に規定する危急用ビルジ吸引系統をいう。ただし、当該系統の管装置及び弁が次の(1)から(3)を満足する場合は、ビルジ吸引系統に使用される弁の操作装置に対し、規則 1.3.1-4.の規定を適用しなくて差し支えない。

- (1) 危急用ビルジ吸引のために使用される弁が常時閉の状態に保たれていること。
- (2) 危急用ビルジ管に逆流防止装置が備えられていること。
- (3) 危急用ビルジ管が、規則 1.3.1-4.の規定を満足する船体付弁の船内側に設けられていること。

~~-42.~~ 規則 1.3.1-4.において、当該規定を満足することを示す検討書を提出すること。

~~-23.~~ 前~~-42.~~の検討書は、次の(1)から(3)に従い作成すること。

- (1) 機関室に浸入した海水が対象となる弁の操作位置まで到達する時間を想定し、規則 1.3.1-1.に規定する高液面警報が作動してから想定した時間が経過するまでに当該弁の操作が完了できることの評価を行うこと。
- (2) 機関室に浸入した海水が、対象となる弁の操作位置まで到達する時間は、機関室内にある最大直径の海水ライン及び関連する弁に破損が生じた場合を想定し算出すること。ただし、当該時間の算出が困難な場合にあっては、同時間を 10 分間として差し支えない。
- (3) 対象となる弁の操作を完了するために必要な時間は、船員が船内を移動する速度を 1.0m/sec とし、船橋から当該弁の操作位置までの距離を用いて算出すること。

## 附 則

1. この達は、2013 年 1 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約\*が行われた船舶にあっては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。  
\* 建造契約とは、最新の IACS Procedural Requirement (PR) No.29 に定義されたものをいう。

### IACS PR No.29 (Rev.0, July 2009)

#### 英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
  - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
  - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

#### Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

#### 仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
  - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
  - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから 1 年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

#### 備考：

1. 本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。